

一心寺門前浪曲寄席鑑賞 第4回

令和2年2月16日(日)、天王寺・一心寺門前浪曲寄席鑑賞のため一心寺南会所に参集しました。親鴨会で鑑賞会を始めて今回で4回目です。

今年も午前11時30分にJR天王寺駅に集合。今年は例年になく参加者が少なく、3名でした。(申込では4名でしたが一人は当日キャンセル)

新型コロナウイルスの影響かなと思いましたが、会場は開始時刻には結構な入りで、浪曲ファンは健在でした。

今回の参加者は毎回参加の常連、浪曲が本当に好きな人たちです。

阿倍野地下街にて3名で天井を食べた後、歩いて10分ほどの会場・一心寺南会所へ向かいました。

やや雨模様。まだあまり観客はいません。会場は自由席なので、良く見える好きな場所に着席。そのうちお客様はどんどん増え、開演前には結構な数のお客様となっていました。

浪曲寄席、午後1時開演。本日の演者は4人の浪曲師。天光軒新月、真山一郎、春野美恵子、京山幸太、各師です。

天光軒新月師は前回と同じく戦時中の物語、泣かせるネタで



す。真山一郎師は同じみの歌謡浪曲。いい声、聞かせます。春野恵子師は女流浪曲師として今回もノリノリでした。そして京山幸太師は人気が盛り上がり来た若手、期待の浪曲師です。

年に何度か楽しむ浪曲、今回も充実した時間を持ちました。皆さんにも十分満足していただけたと思います。来年度もまた同じ時期に「一心寺門前浪曲寄席」を実施したいと思います。



参加者全員の記念撮影

一列目右より、瀬並さん、東端さん、西田

文責：西田義雄